

常任委員会の審査報告

総務常任委員会

二本松市過疎地域自立促進計画について

問 人口の推移を見ると岩代地域及び東和地域における人口の減少が顕著であるが、どのように捉えているのか。

答 二本松市過疎地域自立促進計画に基づき、居住環境を整えるための社会資本の整備、産業基盤の整備、生活環境の整備等ハード部門及びソフト部門の双方で過疎対策に取り組み、総合的かつ計画的な対策を実施し、地域の自立促進を図るとともに、住みやすい環境を整備し人口増加対策に寄与したい。

問 二本松市過疎地域自立促進計画の個々の事業内容について、二本松市長期総合計画に記載のない事業も含まれているがその整合をどのように図るのか。

答 当該過疎計画については、今後6年間に想定される事業を組み込んだところであり、長期総合計画に基づく財政計画との調整を図りながら各種事業を実施していく。



机上審査の様子

市民産業常任委員会

平成22年度二本松市一般会計補正予算について

問 生活習慣病予防事業について、女性特有のがん検診の目標受診率を結果的に下回ることとなったが、検診期間中に受診率を上げるための対策はとれなかったのか。

答 受診率を上げるための対策については、一般的には期限終了前の駆け込み受診が多く、その予測が困難だったこと、さらに一部の受診結果が市へ到達するのに日数がかかるため、対策を講じられなかったが、今年度は早めに準備したい。

問 林道整備事業について、米石羽山線の舗装工事について、なぜ当初予算でなく補正予算により行うのか。

答 米石羽山線については、次年度に舗装を予定していたが、急傾斜部分が豪雨のたびに浸食されてしまうため、その部分を緊急的に舗装することとした。



農業用施設災害復旧 堰補修（若林）上太田地区の説明を受ける様子

9月13日に付託された各議案は、9月16日～17日にかけて、各常任委員会で詳細な審査が行われ、最終日29日の本会議で、各常任委員長から審査の経過と結果が報告されました。

各常任委員長から報告された審査の主な状況をお知らせします。

建設水道常任委員会

平成22年度二本松市一般会計補正予算について

問 霞ヶ城公園における桜植栽敷地整備工事については、日本さくらの会から寄贈される桜の苗木200本を植栽するためとのことであるが、除草などの軽微な作業を緊急雇用創出基金事業により雇用している臨時職員で行うことはできないのか。また、桜の植栽、雑木の伐採、抜根及び産業廃棄物としての処理にかかる経費が大きく、全ての雑木を伐採する必要もないように思われるが、経費を節減する方法はないか。

答 緊急雇用創出基金の公園環境保全事業により雇用している臨時職員については、公園の維持管理に関することに従事することは何ら問題ないため、除草作業はそれらの臨時職員で対応したい。また、雑木の伐採及び抜根については、桜の植栽に支障のある必要最小限の雑木のみを対象とし、伐採したものもその場に置き肥料と

して活用するなど、最大限、可能な限りコスト縮減に努める。



安達ヶ原ふるさと村公園施設補修工事等の説明を受ける様子

文教福祉常任委員会

平成22年度二本松市一般会計補正予算について

問 小浜中と東和中の体育館、東和給食センターのアスベスト除去工事について、以前調査したときに、アスベストを発見できなかったのか。

答 以前の調査では、設計図や目視で確認したが、露出していない部分については、発見できない箇所もあった。

問 小浜中と東和中の体育館は、耐震補強工事が行われており、アスベスト除去工事が追加されて工期が長くなるが、学校行事の運営に支障が出ないのか。

答 できるだけ工期短縮に努め、学校行事等の運営、特に卒業式には支障が出ないように配慮していきたい。体育の授業等には岩代第二体育館と東和小の体育館を、文化祭には岩代総合文化

ホールと東和文化センターを使用してもらう予定である。



東和中体育館アスベスト除去工事の説明を受ける様子